

学籍番号						氏名	評価

裏書禁止、部分点なし

〔1〕次の言葉、事項を簡潔に説明しなさい。（5点×10）

1) 化学塞栓療法
2) ホクナリンテープ
3) OCAS
4) ゼラデックス LA
5) 腸溶性顆粒型持続性製剤
6) 膜透過係数
7) 複合放出型製剤
8) Binding Site Barrier 仮説
9) Doxil
10) インターフェロンのPEG化による利点と欠点

〔2〕 標的指向型製剤として用いられる微粒子薬物キャリアーの例を三つ挙げ、それらの特徴について説明しなさい。(24点)

1)

2)

3)

〔3〕 図はリュープリンの構造の模式図である。この製剤の製法を説明しなさい。(26点)



